

水高同窓会報

第54号

発行所
水沢龍ヶ馬場
水沢高校同窓会
☎0197-24-3151



同窓会長 長野 耕 定

昨年の10月に盛岡支部、11月に仙台支部の支部総会が、6年ぶりに行われました。盛岡は佐藤支部長が現職の県教育長をされているせいでしょうか、県職員の方々が多く参加してくれました。仙台は会場決めに苦労したようですが、村上会長の繋がりで引受けてくれたホテルでの開催でした。総会后、亀井尚東北大学病院副院長のお話があり、元気をいただいたところで懇親会に入りました。両会場とも大いに盛り上がり、いずれも先輩の皆さんとの再会がなによりでした。コロナ禍ではあったものの、数年間の中断は開催のタイミングを計りにくくさせたことと思います。そんな中で再開は、会長はじめ担当された幹事諸兄の相当なご苦労があったこ

とと思います。改めてありがとうございます。

Zからαへ。なんのことかというところと社会情勢の変化に伴い15〜20年ごとに付けられた世代名で世界的に使われているようです。α世代は現在の高校1年生より若い年代で具体的には2010年以降に生まれたとされ、幼いころからスマートフォンに触れてきた世代とされています。さらには彼らの親はY世代が多いのだとか。この区切りはXから始まりZを経てαになりました。各世代の特徴はネット、今はAIになるでしょうか、スマホで調べてみてください。α世代の次の名称はβでしょうか。数学の問題のような話ですね。我々の年代は日本では団塊の世代、欧米でもベビーブーマー世代と言わ

れ、最大の特徴は人数が多いというだけでしょうか。

ところで、2010年といえば10月に水高創立100周年記念式典が行われ、翌年3月11日に東日本大震災が発災した年でした。特に震災が昼間でしたので広く普及していた携帯電話などで津波の初期段階から撮影されており、テレビでも一般人から提供されたその映像を流していました。それにより津波の惨状を知ることができました。個々が発信元になりえることを実感させてくれました。

今では生活していくうえでスマホがなければどうにもならない。あらゆる調べものはもちろん、電話機能、スケジュール管理、カメラ等々。かつて世話になった各種電化製品、そして20巻余あった百貨辞典が手の平に乗る小さな機械で事足りてしまう。朝、スマホが所定の場所がない時などは落着かなくて、昨夜からの行動を振り返り、見つけた時の安堵感は格別です。私の物心付いた頃(幼稚園時代)は未舗装の国道4号、蒸気機関車、街の中にも茅葺きの家があり、車も少ないし除雪もないから道路でスケートができた。そして20歳のころにはオイルショックがあり、石油が枯渇まであと何年などの話がまじめに語られていた。今思えばフェイクニュース。それから60

年後の今はEVが普及しつつも石油依存体質は続いている。

この先人間がかかわっている以上、功罪ありながらも進化していく生成AIだが、私としては情報操作やフェイクニュースを見破り、撃退出来るAIの出現を望むものです。人間が介在している以上無理かな。



感謝



校 長 寒 河 江 和 広

水高同窓会の会員の皆様には、日頃から物心両面にわたる御支援をいただき、教職員を代表いたしまして衷心より感謝申し上げます。

さて、私こと、水高での勤務も三年目が終わろうとしております。今年度で六十歳となり、校長職は引退となります。在任中は、同窓会役員会や総会、支部総会など同窓会関連行事にはほとんど参加させていただき、水高の近況を報告させていただきました。同窓会行事はそもそも同窓生が集まる会なので、時々冗談交じりに「この会場にいる唯一の同窓生でない校長が挨拶をします。」とか「私は水高に教諭で五年の勤務経験がありますので、校長の三年を足すと八年となり、高校三年間だけ過ごした皆様よりは少し多いです。」とか若干の

ウケを狙って話したりすることがありましたが、水高同窓生の皆様方はそんな私を笑顔で受け入れてくださり、本当に感謝しております。

今年は八月の本部の同窓会総会の他に、十月に盛岡支部総会が久しぶりに開催されましたし、十一月には仙台支部総会も開催されました。昨年は関東支部総会も開催されましたので、私の在任中に同窓会の全支部の総会がコロナ以前に戻ったことは、いい思い出となりました。その中で唯一残念だったことがあります。それは、今年度の本部の同窓会総会での講演者を長野耕定会長とともに漫画家の吉田戦車氏にしようかと決めて、佐々木明志事務局長に相当御尽力いただいて実現したにもかかわらず、総会開催週の月曜日に急遽、網膜

剥離で入院・手術となり、土曜日の総会に参加できなかったことです。ビックコミックを年間購読している私にとつて、現在連載中の「かわうそエース」について吉田氏とお話をしようと思っていたのに、とても残念でした。しかし総会の様子を聞くと、会場には百五十名を越える同窓生が集まり、大いに盛り上がったと聞き、あの時吉田氏に決めて良かったと思いました。

なお、当日吉田氏に描いてもらった大判のイラストは校舎三階の展示棚に置き、生徒がいつでも見られるようにしてありますし、自画像として描いていただいたイラストは校長室の棚に飾っております。

さて、今年の卒業生の進路状況ですが、この原稿を書いている一月の時点ではまだ大学入学共通テストが終わったばかりで正式な進路状況を報告できないのですが、学校推薦や総合型選抜で十二月中旬に可否結果が出ている段階ですと、国公立大の現役合格者が四一名と、県内トップの合格者数でした。もちろん、国公立大学に限らず私立大学等についてもこれから一般入試の本番を迎えますので、三年生

の諸君には水高での学びに自信をもつて受験に臨んでほしいと願っています。

それと、水高で全校生徒向けに講話や挨拶をする際に何度も用いた生徒会モットーの「友愛・清新・気魄」ですが、校長室に保管してある何冊かある周年記念誌を読みますと、ちょうど私が生まれる二週間前に制定されていることがわかり、私と水高との縁を勝手に感じたりしました。この三つの言葉が六十年にわたり水高の生徒や同窓生、教職員の心に染み込んで、精神的な継承がなされていると思うと、感銘を受けます。デジタルだ、DXだと急速に変化する世の中ではありますが、そんな世の中を生きっていく人の心に留めておく言葉としては最高の言葉であると、この三年間をとおして再認識いたしました。

最後になりましたが、水高同窓会の皆様には、今後とも水沢高校を末永く応援していただきますよう重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のこれからの御活躍を御祈念申し上げます。最後の御挨拶といたします。三年間、大変お世話になりました。

盛岡支部総会

令和7年10月26日(日)、サンセー
ル盛岡にて、盛岡支部総会を開催し
ました。新型コロナウイルス感染症
の影響で、令和2年度から長い間集
まることができませんでした。が、よ
うやく久しぶりに盛岡支部として顔
を合わせることができました。

今回は久々の開催ということもあり、従来のような大々的な案内は行
わず、同窓生同士の「口コミ」で声を
掛け合う形で準備を進めました。そ
の結果、昭和37年卒から平成21年卒
まで、幅広い世代の24名が集まり、再
会を喜び合う温かい会となりました。

会場には、盛岡支部で長年利用し
てきた思い出深い「サンセール盛岡」
を選びました。久しぶりの総会にふ
さわしい、落ち着いた雰囲気の中で
の開催となりました。

総会では、佐藤一男盛岡支部長の
挨拶に続き、同窓会長・長野耕定様、
そして寒河江和広学校長より祝辞を
いただきました。久しぶりに支部と
して集まったことを喜ぶ、温かいお
言葉が印象的でした。

懇親会では、水沢高校同窓会事務
局長の佐々木明志先生から、学校の
近況や後輩たちの活躍を、ホーム
ページやパンフレットを交えて紹介
していただきました。若い世代の頑
張りに触れ、「自分たちももっと頑張

らない」と気持ちが引き締まる思
いでした。

また、恒例となっている参加者全
員の近況報告では、盛岡での開催で
ありながら、母校やその周辺の懐か
しい話題が次々と飛び出し、世代を
超えて盛り上がりました。

さらに懇親の最後には、「せっかくだから校歌を歌いたい」という声
が上がり、予定にはなかった校歌斉
唱をすることにしました。久しぶり
に声を合わせた校歌は、会場に一体
感を生み、胸が熱くなるひとときで
した。その後、千葉務様の締め言葉
で会を結び、温かく心に残る総会と
なりました。

事務局としては、久々の開催で
あったこと、そして口コミでの呼び
かけということもあり、人数が集ま
るか不安もありましたが、皆様のこ
協力のおかげで多くの同窓生にお越
しいいただき、盛大に開催することが
できました。

会の中では、「来年もやろう」「来年
はもっと連れてくるよ」といった嬉
しい声もたくさんいただきました。
これからも、同窓生が気軽に集まり、
つながりを深められる機会である、
この会を継続したいと思います。来
年度も開催するので、盛岡近郊の方
はぜひご参加いただけますようお願い
いたします。

仙台支部総会

水高同窓会仙台支部の総会、交流
会を令和7年11月9日、来賓の寒河
江和広水高校長、長野耕定本部同窓
会長、山口光閣東地区同窓会長、佐々
木明志事務局長を迎え、ホテルベル
エア仙台(青葉区一番町)で開催し、
42名の参加者がありました。

総会に引き続き、話題提供として、
副会長就任の亀井尚東北大学医学部
教授(大学病院副院長/昭和60年卒)
に「高齢者の元気度の違いーサルコ
ペニアとフレイルの改善へ」と題し
てお話をいただきました。

また、事務局から河野光男水沢高
校初代校長の人物像などについて報
告をしました。

交流会はホテルのレストランに場
所を変え、全員に水高への思いを
語っていただきました。水高で過ご
した青春の思い出の思いを知るこ
が同窓会の良さであると感じました。
仙台支部の繰越金が少ない中、1
48,000円の寄付をいただき、今
後の展望を描くことができました。
(佐々木伸・48年卒)

*返信ハガキのメッセージ(抜粋)
菅原利夫(昭和33卒)：何年たっても
水沢のことは「不滅」である／岡村朋
子(37年卒)：合唱コンサートをしよ
うと老骨に鞭打っている／宍戸功
(42年卒)：初参加。若い水高生にあ
やかたて俳句を勉強中／村上栄一
(48年卒)：火曜日に水沢病院に勤務

／谷康子(54年卒)：後輩たちの未来
が明るく拓かれることを祈る／高橋
和子(59年卒)：単身赴任を終え、仙
台勤務に戻った／加藤圭子(61年卒)
：亀井先生のお話を聞きたかった／
羽賀恭司(63年卒)：平成3年に東北
福祉大学へ。ゼミに水高の後輩がい
る／佐々木文子(平成2年卒)：小学
校の教員をしている／阿部志乃(4
年卒)：長女が社会人、二女は大学3
年。あと少し、がんばる／

*仙台支部役員／会長：村上栄一
(昭和48年卒)／副会長：川橋晴子
(57年卒)・伊藤さやか(59年卒)・亀井
尚(60年卒)／幹事：佐々木伸(48年
卒)・佐藤孝年(51年卒)・小澤勇次郎
(幹事長・55年卒)・及川博之(63年
卒)・石川嘉洋(事務局長・平成6年
卒)／監事：片岡和義(49年卒)・吉田
幸雄(52年卒)／相談役：久松豊(26
年卒)、高橋隆志(33年卒)、齊藤健(34
年卒)



水高同窓会仙台支部交流会

同窓会総会と今年度の活動について

令和 7 年度同窓会総会、講演会及び懇親会は 8 月 9 日(土)に水沢グランドホテルにおいて開催されました。総会には 85 名の参加をいただき、「令和 6 年度事業報告・決算報告」「令和 7 年度事業計画・予算案」について提案し承認されました。

総会後は、漫画家の吉田戦車さん(S 57 年卒)のトークセッションが行われました。奥州市の公式キャラクター「おうしゅうたろうができるまで」をテーマに、奥州市の担当者として企画等に関わった、及川さくらさん(H 24 年卒)と高橋



利斗さん(H 25 年卒)にも登壇していただきました。MC として吉田さんと同級生の、三浦勝博さん(S 57 年卒)と菊地有香さん(S 57 年卒)にもご協力いただき、企画から何度もデザインを作り直して最終決定に至った経緯や、広く市民に愛されるキャラクターになるまでの市職員の方々の取り組みなど、とても興味深いお話しをうかがうことができた。最後には来場の方々の質問を受けながらその場でイラストを描いていただくサプライズもありました。

その後の懇親会の参加者は 98 名となり、講師の吉田さんの同級生も多く参加され、会を盛り上げていただきました。最後は元応援団リーダーの方々のタクトにより参加者全員で校歌を高らかに歌い閉会となりました。総会・講演会・懇親会ともに近年にないほど多くの同窓生にご参加いただき、世代を超えた様々な交流がおこなわれる

いい機会になったと感じます。

各支部活動としては、コロナ禍以来久しぶりに盛岡支部、仙台支部の総会・懇親会が開催されました。隔年開催の関東支部総会は令和 8 年 11 月に開催される予定です。また、来年度の同窓会総会は 8 月 8 日(土)を予定しております。詳細は「水沢高校同窓会ホームページ」等でお知らせしますので、お近くの同窓生の方々にもお声がけいただき是非ご参加ください。

(事務局長 佐々木 明志・S 57 年卒)



令和 7 年度同窓会総会 トークセッション

【講師】漫画家 吉田戦車氏(昭和 57 年 3 月卒業 高校 34 回生)
【プロフィール】

1963 年生まれ。岩手県奥州市出身。1985 年から様々な雑誌でイラスト、漫画の仕事をする。代表作に『伝染んです』『ぶりぶり県』『まんが親』などがある。1991 年に第 37 回文藝春秋漫画賞、2015 年に第 19 回手塚治虫文化賞短編賞を受賞。

奥州市公式マスコットキャラクター「おうしゅうたろう」をデザイン。奥州大使として市の PR、魅力向上に取り組んでいる。





令和7年度 水沢高校同窓会懇親会



7年度水沢高校同窓会総会



水高同窓会「特別寄付金」のお礼

昨年の会報とともにご協力をお願いしました「特別寄付金」につきまして、657名の皆様より4,067,000円のご厚志を賜りました。(2月12日現在)

皆様からの真心のこもったご厚情は、同窓会報の郵送をはじめとする同窓会事業、さらには在校生への支援に大きく寄与しております。ご協力くださいました皆様に、心より厚くお礼申し上げます。今後とも、母校と同窓会の活動を支援していただけますよう、引き続きご支援をお願い申し上げます。

なお、「特別寄付金」につきましては、今後もお受けしております。詳細は水高同窓会ホームページをご覧ください。



時を越えて、心はあの日のままに

昭和60年(1985年3月) 卒同窓会

日時/2026年8月14日(金) 18:00開宴~20:00

場所/水沢グランドホテル

会費/8,000円

岩手県立水沢高等学校 昭和60年卒同窓会発起人会

問い合わせ 090-3121-6175(阿部靖彦)



↑
詳細・申込は
こちらから

現役生の活躍

水沢高 21年連続全国へ



俳句甲子園 東北地区V 中澤さん 最優秀句

俳句甲子園東北地区大会で、中澤さんが最優秀句を受賞した。中澤さんは、俳句の創作に情熱を注ぎ、多くの賞状や賞品を獲得している。今回の受賞は、その実力を証明するものだった。

全国大会出場を決めた水沢A

水沢高校は、今年で俳句甲子園出場が21年連続となる。これは、同校の俳句部が、この大会で優勝し、全国大会出場を決めたことによる。中澤さんは、今回の受賞で、全国大会出場を決めた。中澤さんは、俳句の創作に情熱を注ぎ、多くの賞状や賞品を獲得している。今回の受賞は、その実力を証明するものだった。

岩手日日 令和7年6月22日付

重量挙げ 学校対抗 水沢 連覇達成



さらなる筋力強化を 水沢



胆江日日 令和7年11月6日付

女子個人 渡邊・柴田組(水沢)栄冠

県高校選抜インドアソフトテニス



女子個人戦を制した水沢の渡邊(左)・柴田(右)組(ともに2年)

水沢高校の女子ソフトテニス部は、今年度の県高校選抜大会で、渡邊さんと柴田さんがペアを組み、優勝を果たした。この優勝は、水沢高校のソフトテニス部にとって、歴史的な快挙である。渡邊さんと柴田さんは、試合中、高い連携と技術で、相手チームを打ち破った。この優勝は、両選手の努力とチームのサポートによるものである。



水沢高校の女子ソフトテニス部は、今年度の県高校選抜大会で、渡邊さんと柴田さんがペアを組み、優勝を果たした。

水沢高校の女子ソフトテニス部は、今年度の県高校選抜大会で、渡邊さんと柴田さんがペアを組み、優勝を果たした。この優勝は、水沢高校のソフトテニス部にとって、歴史的な快挙である。渡邊さんと柴田さんは、試合中、高い連携と技術で、相手チームを打ち破った。この優勝は、両選手の努力とチームのサポートによるものである。

高校野球・1年生交流県大会



水沢が堂々準優勝

決勝、盛大付に3-5



準優勝の水沢チーム

胆江日日 令和7年12月25日付

同窓生の活躍

岩手日報 2025年(令和7年)9月21日(日曜日)

東京発
イワテビト!

68

森ビル(港)広報室
伊藤 優香さん 奥州出身

世界と戦える都市に

社 港区で六本木ビルズ、虎ノ門ビルズ、麻布台ビルズなどの複合施設を開発し、管理運営する。「都市を創り、都市を育む」を掲げ、森美術館が象徴するように文化芸術の振興にも力を入れている。同じ港区でもエリアによって様相が異なり、各ビルズも国際性やオフィス機能、落ち着いた住環境などを重視する要素はさまざま。「それぞれ個性のあるビルズが一体として連なることでより競争力を持つ」と説く。

水沢高を卒業後、法政大学キャリアデザイン学部に進学。上京して感じた「狭いのに起伏もあり、いろいろな特徴を持ったまちが集まっている」という東京への興味が人社に繋がった。

経理などを学んだ2016年から広報を担当。メディア対応と交流サイト(SNS)での情報発信を中心に自社と社会をつなぐ役割を果たしてきた。

印象深いのは、35歳の歳月を要して23年に開業した麻布台ビルズに関する一連の記者説明会だ。「長期間向き合ってきた真実が、信頼して待つてくれた300人の権利者がいる。それを世に出すリレーのアンカー」。緑豊かな複合施設の魅力を伝えるため、万全の準備を整えた。21年にはインターネットの投稿プラットフォーム「note(ノート)」の自社サイト立ち上げを企画し、形にした。社員が仕事に懸ける思いをつづるスタイルで、大きな目標に向かい「一段一段山を登っている物語を伝えたい」心だったと振り返る。

都市づくりはそこに住み、そこで働く人との共創の営み。「関わる人が多いからこそ全てのことに誠実でありたい」。森ビルの理想を体現する広報パーソンを追求する。(随時掲載)

都内の中心地で都市の再開発を手がける総合ヘローパ―森ビル(東京都港区)。奥州市出身の伊藤優香さん(38)は広報室に所属し、魅力的なまちづくりに励む同社の取り組みを発信している。「東京は日本のエンジンであり、世界と戦える都市を目指す」と未来を見据える。

1959年に設立した同

東京の再開発を通じ「世界と戦える都市にしたい」と語る伊藤優香さん

伊藤 優香さん(いとう・ゆうか) 水沢高一法政大キャリアデザイン学部卒。2010年に森ビルに入社し、経理部やタウンマネジメント事業部などを経て16年から広報室に所属。主にメディア対応やSNSでの情報発信を担当。38歳。奥州市出身。

岩手日報 令和7年9月21日付

岩手日報 令和7年6月3日付

伝統文化を長年守り継ぐ水沢くくり離保存会の会長
佐々木 恵子さん(78)

ひと

古里の奥州市水沢地方に伝わるくくり離。伝統文化を次世代へつなぐ願いを込め、作品を作る。「先輩が残してくれたから活動できている」と感謝する。

運動好きの活発な子どもで、旧佐倉河中ではソフトボールの大会に出場。水沢高でも続け仲間と協力する大切さを学んだ。洋裁の先生だった叔母の影響もあり、洋裁の専門学校への進学を考えたその叔母の助言で、

若いうちにできることをしようと東京女子体育短大へ。長野県でスキー実習に臨んだら、伊豆の海で水泳をしたら、さまざまな経験を積んだ。

地元に戻り助教諭として勤務。初任地の旧南股小時代は家族のような「地域の人たちの温かさが強く心に残る」。

保存会の前身会長の誘いで20年前にくくり離作り始めた。当時習い始めた書道、布地を活用した洋服作りなどが趣味。同市水沢佐倉河で長男夫婦と暮らす。友人との旅行や保存会メンバーとの時間を楽しむ。

座右の銘は「克己」。自身の高校受験シーズン、中学の担任が話した「弱い自分に勝て、それが克己心だ」との言葉を告しいと心に思い起してきつた。「仲間がいるから、くくり離をしないで楽しく生きなすべし」と明るく笑った。(奥州市高・斎藤詩菜)

岩手日報 令和7年12月1日付

奥州市誕生の祝い歌「奥州謙良節」を作詞した
小野 寛さん(88)

ひと

奥州市誕生を記念して市民で制作した「奥州謙良節」を作詞した。先に行われた市制施行20周年記念式典の会場で、完成当時の動画が公開され「歌詞に込めた市の発展への思いが多くの人に届く」と願う。

同市水沢出身。福島大を卒業し、県内の小学校に37年間勤務。大学在学時から国語が専門で、時や作文の指導に注力した。地域の児童生徒の作文集の編集委員長も務めた。

朝5時からテレビで放送されるクラシック音楽を聴くのが至福のひととき。孫11人、ひ孫8人に恵まれ、間もなく生まれる2人のひ孫を心待ちにする。市内で妻淳子さん(86)と2人暮らし。

現在同市の水沢読書連絡会長のを務める。言葉に関わる活動はまさにライフワークで、会員らの原稿を集約し、年に1度文集「いずみ」を発行している。

教師の道を歩む中で、支えとなった恩師の言葉がある。国民学校初等科3年のとき、「可」だった習字の成績に対し、担任からは慈愛に満ちた顔で「今度からは優をあげるから頑張てね」と声をかけられた。何げない一言だったが、悩まや不安の多い人生を乗り越えられる「心に残る言葉だった」。

(奥州市高・佐々木あおば)



後輩も頑張っています



最近 3 年間の進路状況

学校名等	卒業年	R7	R6	R5	学校名等	卒業年	R7	R6	R5	学校名等	卒業年	R7	R6	R5	学校名等	卒業年	R7	R6	R5
北 見 工 業 大		3		2	宮 崎 公 立 大				1	神 田 外 語 大		1	2	2	立 正 大		1	3	
北 海 道 教 育 大		9	6	4	公立大学合計		44	44	29	淑 徳 大		1		1	早 稲 田 大		1		
小 樽 商 大			1		国公立大学合計		134	132	110	聖 徳 大				1	神 奈 川 大		5		
室 蘭 工 大		6	1	2	国公立大合格実人数		133	128	110	千 葉 工 大		1		1	神 奈 川 工 科 大		2		1
弘 前 大		9	12	6	防 衛 大 学 校			1		千 葉 商 科 大				1	鎌 倉 女 子 大		2		
岩 手 大		25	17	23	岩手農業大学校			1		秀 明 大		2			鶴 見 大		1		
東 北 大		4	4	3	県立産業技短			7	1	帝 京 平 成 大				1	新潟医療福祉大				1
宮 城 教 育 大		2	3	3	東北職能大学校			1		東 都 大				1	新潟食料農業大				1
秋 田 大		3	3	6	職業能開大学校		4			青 山 学 院 大			1		静岡英和学院大		1		
山 形 大		3	10	9	大学校合計		4	10	1	亜 細 亜 大		1			中 京 大				1
福 島 大		6	8	5	札 幌 大		2			桜 美 林 大		2	1		鈴 鹿 医 療 大				1
茨 城 大		1			札幌学院大				3	大 妻 女 子 大			1		京 都 芸 術 大		1		
筑 波 大		1	1	1	北 海 学 園 大				1	北 里 大		5			関 西 大		2		
宇 都 宮 大		5	5	6	北海道科学大			8		工 学 院 大				1	立 命 館 大				1
群 馬 大		5	6	3	北海道情報大				1	杏 林 大		1			関 西 外 語 大				1
埼 玉 大		2	2	2	日本医療大		1		1	國 學 院 大		1			近 畿 大				1
千 葉 大			2	2	青 森 大				1	駒 沢 大		4	3		摂 南 大				1
電 気 通 信 大			3	1	八 戸 工 大		1	2	3	芝 浦 工 大			2	3	関 西 学 院 大				1
東 京 学 芸 大		1			弘前医療福祉大			1	1	順 天 堂 大		3			大 阪 芸 術 大		1		
東 京 農 工 大				1	岩 手 医 大		12	10	8	昭 和 薬 科 大		1			吉 備 国 際 大				1
横 浜 国 立 大		1			岩手保健医療大		1	1	2	白 百 合 女 子 大		1		2	岡 山 理 科 大		2		
新 潟 大		1	1		富 士 大				1	成 蹊 大		2		2	福 山 大		1		
富 山 大				1	盛 岡 大		18	11	12	成 城 大		1	1		私立大学合計		217	203	181
金 沢 大			1	1	石 巻 専 修 大			6	5	清 泉 女 子 大		1			岩手県大宮古短		1	8	3
信 州 大		1			仙 台 大			2	1	専 修 大		2		2	岩手県大盛岡短		4	2	3
静 岡 大		2	1		東北医科薬科大		8	3	4	創 価 大				1	山形県米沢女短		2	2	3
名古屋工業大			1		東北学院大		26	34	23	大 正 大		1			会 津 大 短 大 部				4
国立大学合計		90	88	81	東北工大		11	19	14	大 東 文 化 大		1	5		大 月 短		1	5	2
はこだて未来大		1		1	東北福祉大		20	19	13	拓 殖 大				1	国公立短大合計		8	21	11
名 寄 市 立 大			2	1	東北文化学園大		1	6	1	多 摩 大				1	修 紅 短				1
青森県立保健大		1	2	1	宮城学院女子大			7	8	中 央 大		1	4	4	盛 岡 大 短 大 部				1
青 森 公 立 大		2	2	1	仙台青葉学院大			4		津 田 塾 大			1		仙 台 青 葉 学 院 短				1
岩 手 県 立 大		11	12	12	東北芸術工大			2	1	帝 京 大			3	1	川 口 短				1
宮 城 大		9	3	4	秋田看護福祉大		1	1	3	東 海 大		5	5	7	東 京 交 通 短				1
秋 田 県 立 大		3	5	4	日赤東北看護大		1		1	東 京 経 済 大		1			小 田 原 短		1		
山形保健医療大		1			ノースアジア大		1		1	東 京 工 科 大		1	1	4	関 西 外 大 短 大 部				2
前 橋 工 科 大				3	東北公益文科大		1			東 京 工 芸 大		1			私立短大合計		1	6	3
群馬県立女子大		2			つくば国際大		1			東 京 電 気 大		1			県立一関高等看護		5	6	2
高 崎 経 大		3	4		国際医療福祉大		8	8	2	東 京 農 大		3	1		盛岡看護医療大学校				2
東 京 都 立 大		1			白 鷗 大		1		3	東 京 薬 科 大		1		1	花 巻 高 等 看護				1
神奈川県立保健福祉大			1		群馬パース大			1		東 京 理 大			1		仙台医療附属看護助産		1	4	
横 浜 市 立 大		2	1		高崎健康福祉大			1		東 洋 大		9	3	3	東北労災看護		1	4	
新 潟 県 立 大			2		高崎商科大			1		二 松 学 舎 大		1			気仙沼市立看護専門				1
福 井 県 立 大			1		埼玉医大		1			日 本 大		6	4	10	国際医福専一関		1		
都 留 文 科 大		4	3		埼玉工大		1			日 本 社 会 事 業 大		3	2		大宮歯科衛生士				1
長 野 大		1			城西大		1		1	日 本 女 子 大			1		葵メディカルケア				1
長野県立大		1	1		文教大		4			日 本 女 子 体 育 大			1		東北保健医療専門				1
静岡県立大		1		1	駿 河 台 大			1		法 政 大		4			宇都宮歯科衛生士専門				1
福知山公立大			1		東京国際大			2		武 蔵 大		1			その他専門学校		2	7	6
奈良県立大			1		獨 協 大			1		武 蔵 野 大		1		2	専門学校等合計		10	28	10
島根県立大		1	1		日本工業大				1	明 治 大			2	1	公務員		1		4
高知工科大			1		目 白 大		2			明 治 学 院 大				1	民間就職				1
高 知 県 立 大			1		日本医療科学大		1	2		明 治 薬 科 大		1		1	就職合計		1		5

令和7年度部活動諸大会記録

運動

県大会ベスト8以上

準々決勝 0-2 一関修紅

ベスト8

硬式野球部

・いわて国体記念 第9回1年生野球交流岩手県大会

準々決勝 6-4 高田

準決勝 7-4 盛岡商業

決勝 3-5 盛岡大附

準優勝

バスケットボール部

・第52回東北総合スポーツ大会バスケットボール競技出場

・第79回国民スポーツ大会(わたしINGA)輝く国スポ2025) 出場

安倍 然

サッカー部

【男子】

・高校総体県大会

2回戦 19-0 一関高専

3回戦 1-0 盛岡市立

準々決勝 0-0 盛岡誠桜

(PK4-5) ベスト8

【女子】

・高校総体県大会

2回戦 79-66 盛岡一

3回戦 62-46 花巻北

準々決勝 60-49 盛岡市立

準決勝 45-91 一関学院

(優秀選手 村上 乃々葉)

・選抜大会県大会

1回戦 82-54 盛岡一

準々決勝 55-39 水沢第一

準決勝 55-91 盛岡白百合

・新人大大会県大会

1回戦 106-36 北桜

2回戦 86-57 宮古

準々決勝 83-57 盛岡三

準決勝 49-71 盛岡白百合

第3シード決定戦 65-60 一関修紅

【男子】

・高校総体県大会

1回戦 27-22 一関工業

2回戦 17-42 専大北上

※4校合同チームとして出場(水沢、花巻農業、紫波総合、スコレ)

ベスト8

・第35回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会

(個人戦シングルス)

渡邊 侑莉

渡邊 侑莉・柴田 夏帆

(東北大会出場)

優勝

・選抜大会県大会

予選 36射16中

準決勝 7中 計23中

4位決定戦 0-1 花巻農業

5位通過

4位タイ

第5位

ソフトテニス部

4回戦 1-3 一関二

ベスト8

【女子】

・高校総体県大会

(個人戦)

渡邊 侑莉・柴田 夏帆

ベスト8

・新人大大会県大会

(団体戦)

2回戦 2-1 専大北上

3回戦 2-1 花巻南

4回戦 2-1 黒沢尻北

準決勝 2-1 久慈

決勝 2-1 盛岡第三

優勝

(個人戦)

渡邊 侑莉・柴田 夏帆

北崎 真海・吉田 湖美

・岩手県高等学校選抜インドアソフトテニス大会

(個人戦)

渡邊 侑莉・柴田 夏帆

優勝

・第35回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会

(個人戦シングルス)

渡邊 侑莉

渡邊 侑莉・柴田 夏帆

(東北大会出場)

優勝

・選抜大会県大会

予選 36射16中

準決勝 7中 計23中

4位決定戦 0-1 花巻農業

5位通過

4位タイ

第5位

弓道部

・高校総体県大会

【女子個人】

梅原 未悠(20射17中)

(東北選手権、インターハイ出場)

優勝

・選抜大会県大会

予選 36射16中

準決勝 7中 計23中

4位決定戦 0-1 花巻農業

5位通過

4位タイ

第5位

・新人大大会県大会

【男子団体】

1回戦 2-1 盛岡北

2回戦 4-1 遠野

準々決勝 0-5 南島みらい

ベスト8

・全国選抜剣道大会岩手県予選会

【女子団体】

2回戦 1-4 一関修紅

ベスト8

(東北大会出場)

・高校総体県大会

準々決勝 3-2 盛岡北

準決勝 0-5 福岡

第3位

(東北大会出場)

・新人大大会県大会

学校対抗

1回戦 3-0 盛岡商業

2回戦 3-1 北上翔南

3回戦 3-2 一関一

準々決勝 2-3 盛岡四

ベスト8

・高校総体県大会

学校対抗

1回戦 3-0 盛岡商業

2回戦 3-1 北上翔南

3回戦 3-2 一関一

準々決勝 2-3 盛岡四

ベスト8

・新人大大会県大会

学校対抗

2回戦 3-0 盛岡北

3回戦 3-1 盛岡商業

準々決勝 2-3 盛岡四

ベスト8

・新人大大会県大会

学校対抗

2回戦 3-0 盛岡北

3回戦 3-1 盛岡商業

準々決勝 2-3 盛岡四

ベスト8

県大会ベスト8以上

準々決勝 0-2 一関修紅

ベスト8

バスケットボール部

・第52回東北総合スポーツ大会バスケットボール競技出場

・第79回国民スポーツ大会(わたしINGA)輝く国スポ2025) 出場

安倍 然

サッカー部

・高校総体県大会

2回戦 79-66 盛岡一

3回戦 62-46 花巻北

準々決勝 60-49 盛岡市立

準決勝 45-91 一関学院

(優秀選手 村上 乃々葉)

・選抜大会県大会

1回戦 82-54 盛岡一

準々決勝 55-39 水沢第一

準決勝 55-91 盛岡白百合

・新人大大会県大会

1回戦 106-36 北桜

2回戦 86-57 宮古

準々決勝 83-57 盛岡三

準決勝 49-71 盛岡白百合

第3シード決定戦 65-60 一関修紅

・高校総体県大会

1回戦 27-22 一関工業

2回戦 17-42 専大北上

※4校合同チームとして出場(水沢、花巻農業、紫波総合、スコレ)

ベスト8

・第35回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会

(個人戦シングルス)

渡邊 侑莉

渡邊 侑莉・柴田 夏帆

(東北大会出場)

優勝

・選抜大会県大会

予選 36射16中

準決勝 7中 計23中

4位決定戦 0-1 花巻農業

5位通過

4位タイ

第5位

バレーボール部

【男子】

・新人大大会県大会

2回戦 2-0 花巻北

3回戦 2-1 宮古商工

バドミントン部

【男子】

・新人大大会県大会

学校対抗

2回戦 3-0 盛岡農

3回戦 3-0 久慈翔北

剣道部

・高校総体県大会

【女子団体】

・新人大大会県大会

学校対抗

2回戦 3-0 盛岡北

3回戦 3-1 盛岡商業

準々決勝 2-3 盛岡四

ベスト8

3 回戦 3-1 宮古
準々決勝 1-3 盛岡市立
ベスト 8

男子ダブルス

荒川 大和・及川 友
ベスト 8

【女子】

・新人大大会県大会

学校対抗

1 回戦 3-0 南昌みらい

2 回戦 3-2 花巻北

3 回戦 0-3 一関二
ベスト 8

陸上競技部

・高校総体県大会

男子 4×100 m R 第 8 位

四谷 和輝・井面 杏哉・千葉 蓮・

須藤 賢亮・高橋 里桜

・岩手県民スポーツ大会

男子 4×100 m R 第 8 位

高橋 里桜・須藤 賢亮・千田 蓮人・

千葉 蓮

女子 4×100 m R 第 5 位

齋藤 潤・中村 美蘭・柴田 紗希・高橋 怜愛

・新人大大会県大会

男子 100 m 千葉 蓮 第 4 位

男子 200 m 千葉 蓮 (東北大会出場)

男子 400 m 須藤 賢亮 B 決勝 6 位

男子 4×400 m R B 決勝 6 位

千葉 晴人・菅原 将義・須藤 賢亮・

高橋 里桜

女子 100 m 高橋 怜愛 B 決勝 6 位

女子 200 m 柴田 紗希 B 決勝 5 位

女子 4×100 m R 第 7 位

齋藤 潤・中村 美蘭・柴田 紗希・

高橋 怜愛

山岳部

・高校総体県大会

男子 第 5 位

高橋晴斗・佐々木悠翔・丹内怜・伊藤俐公也

女子 第 2 位

岩淵葵・加藤蒼衣・市橋ゆきの・高橋人心

・スポーツクライミングいわてカップ 2025

ボルダー大会

高校生以下女子 三浦 舞 第 3 位

・第 18 回岩手県スポーツクライミング競技国スポ

選手選考会

少年男子 ボルダー競技

本明 佳、小原 舞人 第 2 位

リード競技

少年女子 ボルダー競技

本明 佳、小原 舞人 第 2 位

リード競技

三浦 舞、市橋 ゆきの 第 2 位

・第 52 回東北総合スポーツ大会

ボルダー競技 本明 佳 第 4 位

リード競技 本明 佳 第 4 位

・新人大大会県大会

チーム対抗男子 第 5 位

佐々木悠翔・伊藤俐公也・菊池蒼一郎・

鳥海琉依

・第 16 回全国高等学校選抜スポーツクライミング

選手権大会岩手県予選

男子 リード 小原 舞人 第 3 位

女子 リード 三浦 舞 第 1 位

水泳部

・高校総体県大会

男子 200 m 自由形決勝 田澤 智志 8 位

400 m フリーリレー決勝 7 位 (東北大会出場)

(米沢・田澤・村上・千葉) (東北大会出場)

400 m メドレーリレー決勝 8 位

(米沢・田澤・村上・千葉) (東北大会出場)

女子 100 m 平泳ぎ決勝 藤枝 英恵 6 位

200 m 平泳ぎ決勝 藤枝 英恵 6 位 (東北大会出場)

・新人大大会県大会

男子 50 m 自由形決勝

米沢 優翔 6 位

100 m 自由形決勝 田澤 智志 5 位

200 m 自由形決勝 田澤 智志 6 位

女子 100 m 平泳ぎ決勝 藤枝 英恵 6 位

200 m 平泳ぎ決勝 藤枝 英恵 5 位

ウェイトリフティング部

・高校総体県大会

男子学校対抗 第 2 位

55 kg 級 及川 裕雅 第 1 位 (東北大会出場)

61 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

67 kg 級 鈴木 太陽 第 1 位 (東北大会出場)

73 kg 級 小野 祐大 第 2 位 (東北大会出場)

79 kg 級 佐藤 栞那 第 3 位 (東北大会出場)

85 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

91 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

97 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

103 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

109 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

115 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

121 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

127 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

133 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

139 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

145 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

151 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

157 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

163 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

169 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

175 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

181 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

187 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

193 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

199 kg 級 高橋 幸明 第 1 位 (東北大会出場)

カヌー

・第 52 回東北総合スポーツ大会カヌー競技

成年女子スラロームカヤックシングル

千葉 花音 第 2 位

※国民スポーツ大会出場

《文 化》

県大会ベスト8以上

美術部

・第48回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
特賞（メディア部門）
佐々木 優佳
入選（メディア部門）
石川 結華
熊谷 遼子
高橋 紗礼
入選（絵画部門）
中村 美優
及川 千歳
菊池 結音
高橋 岐美加

書道部

・第30回全日本高校・大学生書道展
優秀賞（調和体部門）
米沢 優那
・第48回岩手県高等学校総合文化祭書道部門
入選（漢字・かな部門）
小野寺 楓果
宮館 倫代
小林 花菜香
菊池 幸来
菊池 礼徒
中嶋 奏海
千田 瑚夏
米沢 優那
入選（漢字かな交じり部門）
入選
・第34回国際高校生選抜書展
入選

写真部

・令和7年度県高文連写真専門部主催
第16回夏季写真コンテスト

・第26回高校生国際美術展 書の部
佳作
千田 瑚夏
中嶋 奏海
米沢 優那
米沢 優那

吹奏楽部

・第63回岩手県吹奏楽コンクール
高等学校小編成の部
金賞（代表・東北吹奏楽コンクール出場）
・第34回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコン
テスト東北大会
山下 琉音（マリンバ）
（全国大会出場）
金賞

文芸・短詩部

・第28回俳句甲子園（全国高等学校俳句選手権大会）
東北地区大会北上会場
団体優勝 水高A
最優秀作品賞
「春の星こけしの首の回る音」兼題 春の星
中澤 美賀
・令和7年度岩手県高校生文芸コンクール
最優秀 随筆部門「あの夜の秋を探して」
八幡 明日音
児童文学部門
「コウジさんとボルスカ」
遠藤佳花（東北大会出場）
優秀 詩部門「ゆめ」 高橋 生楽
小説部門「青春のフェルマータ」
門脇 悠莉
俳句部門 中澤 美賀
宮澤 凛（東北大会出場）
詩部門 遠藤 佳花
短歌部門 遠藤 佳花
優良

優良賞 「みててね、お母さん」

入選 「Prayer」 菅原 可菜
「ひたむきに」 小野寺 楓果
「校長先生は親分」 奥野 礼央奈
「いざ山登り」 及川 木乃葉
千葉 唯花

戯曲部門 門脇 悠莉
俳句部門 高野 晴
文芸部誌部門 高野 昊
俳句部門 及川 真聖
門脇 悠莉
菊池 悠斗
高橋 生楽
八幡 明日音
八幡 明日音

入選 小説部門
・第40回全国高等学校文芸コンクール
俳句部門 入選
青田風本堂の香流れくる 高野 昊
・第53回千代女少年少女全国俳句大会
高校生の部
大賞
流星や私の宝箱は空 中澤 美賀
特選
汗ばんだ父の目尻の皺深く 高橋 生楽
小林一茶百九十九回忌全国俳句大会高校生・大
学生部門
特選
寄居虫やカンブリア紀の記憶あり 門脇 悠莉
・第28回神奈川大学全国高校生俳句大会
【個人賞】
最優秀賞 中澤 美賀
選者賞 高野 晴
恩田侑布子賞 高野 晴
入選 高橋 生楽
中澤 美賀
八幡 明日音
遠藤 佳花
高野 昊

【団体賞】
団体優秀賞（団体優秀賞三校 応募高校数二百
六十六校）

囲碁・将棋部

・第49回全国高等学校囲碁選手権岩手県大会
男子団体戦A級 第4位

水沢 3ー0 盛岡工
水沢 0ー3 盛岡一
水沢 1ー2 岩手 （3位決定戦）
個人戦 大石 陸斗 B1級 第2位
・第47回岩手県高等学校将棋大会
男子団体戦A級 第4位
水沢A 2ー1 盛岡第一A2
水沢A 3ー0 岩手A2
水沢A 0ー3 岩手A1
水沢A 1ー2 花北青雲A2
・第34回岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会
男子団体戦A級 第4位
水沢 2ー1 盛岡工
水沢 0ー3 盛岡四
水沢 1ー2 盛岡一
・第44回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会
男子団体戦A級 第5位
水沢A 1ー2 花北A
水沢A 1ー2 盛岡一A1
水沢A 0ー3 岩手A1
水沢A 1ー3 岩手A2
水沢A 2ー1 盛岡一A2

演劇部

・第48回岩手県高等学校総合文化祭演劇部門
優良賞

軽音楽部

・第48回岩手県高等学校総合文化祭（第25回軽音
楽発表会）
優良賞 バンド名：Day Tripper
（丹内怜・渡部陸・佐藤心咲・
阿部野乃花・柵山奏成）

かるた

・第32回岩手県高等学校かるた選手権大会
個人戦 千田 大耀 第1位
（全国大会出場）

令和 7 年度激励金交付報告

今年度も水高生が運動部、文化部ともに大活躍しました。広島ほか中国地方で開催された「中国総体 2025(インターハイ)」に弓道部が出場したほか、文芸・短詩部は21年連続の全国出場を果たしました。東北大会・全国大会に出場した部等に激励金として約27万円を支出しました。水高生のますますの活躍を期待します。

運動 弓道 ウエイトリフティング ソフトテニス 水泳 陸上競技 剣道 バスケットボール
カヌー アイスホッケー

文化 文芸・短詩 吹奏楽 かるた

水高育英会へのご寄付ありがとうございました

今年度、「水高育英会」へ総額約11万円のご寄付を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。これまでも多くの進学した卒業生を支えております。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

水高育英会寄付者名簿(令和 7 年 2 月 1 日～令和 8 年 1 月31日確認分・敬称略)

小澤 修、小野田 義人、木村 恵也、千田 英之、中田 佑、村上 倍達、(有)鳥海米穀店
(五十音順)

令和 7 年度

職 員 異 動

◆転出

山 平 禎 二 (数学)	一関工業
高 橋 利 幸 (地歴)	盛岡第二
工 藤 晴 彦 (数学)	盛岡第二
高 橋 直 文 (数学)	千厩
菊 地 英 明 (理科)	大東
高 橋 一 成 (理科)	住田
目 黒 賢 哉 (英語)	退職
菅 野 純 (音楽)	退職
戸 田 公 夫 (理科)	北桜
林 崎 英 恵 (英語)	釜石商工
大 峠 要 (地歴)	盛岡北
中 澤 巧 (主査)	一関第一

◆転入

立 野 浩 (数学)	盛岡第一
青 木 裕 信 (理科)	釜石
岩 渕 好 博 (理科)	千厩
似 内 聖 (理科)	不来方
岩 間 真 (地歴)	不来方
二階堂 幸 枝 (英語)	高田
小田島 久 美 (理科)	千厩
山 川 治 (数学)	花巻北
松 尾 洋 平 (数学)	盛岡第二
川 村 洋 平 (情報)	杜陵奥州
鎌 田 恵梨子 (音楽)	盛岡ひがし支援
佐 藤 律 子 (主任主査)	水沢工業
小 澤 明 美 (事務補助)	

◆事務室からのお知らせ◆

卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要です。一通あたり、400円分の岩手県収入証紙を添付して申請して下さい。詳しくは水沢高校ホームページをご覧ください。事務室までお問い合わせ下さい。

編集後記

今年度は6年ぶりに盛岡・仙台両支部での支部総会が開催され、また夏の総会にも例年以上に多くの方々にご参加いただきました。皆様の変わらぬご協力に支えられ、同窓会活動の広がりをあらためて実感した一年でした。同窓生の活躍に触れるたび、母校を思う心の温かさに励まされます。

現役生も、部活動や探究活動で新たな挑戦を続け、力強い成長を見せてくれています。その頼もしい姿を紙面から感じていただければ幸いです。今後とも、水高生への温かなご支援・ご声援をどうぞよろしくお願い申し上げます。